

1. 単元名 文化財や年中行事を自分たちで残していこう

2. 単元の目標

- ・奈良県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できる。(知識・技能)
- ・おん祭について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目し、人々の願いや努力と関連付けて考え、表現できる。(思考・判断・表現)
- ・おん祭を含めた奈良県内の文化財や年中行事について、誇りと愛情を持ち、地域社会の一員として自覚をした上で、互いの良さを生かしながら積極的に社会に参画しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、奈良県内の文化財や年中行事の中から「おん祭」を教材として取り上げる。おん祭は平安時代の1136年から藤原忠通が始めたもので、現在国の重要文化財に指定されている。全国的な不作や飢饉、疫病などの困難から抜け出し、人々が幸せになるように1135年に創建された「若宮神社」で祭礼を行なった。ここから1度も途切れることなく、今年で888回目の開催となった。

このように長い歴史のあるおん祭を、子ども達は「お渡り式」や屋台のイメージしかほとんど持っていない。そこで、おん祭の歴史や888回続けてきた人々の想いを知ることで、世界中で病気が流行っている今、子ども達にとって自分ごととして、おん祭を始めた人々の気持ちが分かるチャンスであると考え、もっとおん祭を深い所で感じるために、教材として取り上げることにした。

(2) 児童観 ※省略

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まずおん祭で使われている雅楽の楽曲(甘州、敷手)を聴かせ、楽器の特徴や演者の配列の役職、舞曲について学ぶ。そこで、毎年開催されているおん祭で使われている楽曲だと教え、おん祭に参加したことがある児童には、意外性を、おん祭に参加したことがない児童のためにはまず、動画を見せることでどんなお祭りなのか大まかに掴ませる。その後、南都楽所の方にご協力いただき、生の和楽器に触れることで雅楽を身近に感じてもらえる活動を取り入れる。おん祭はお渡り式や、屋台だけではないことを知った上で、歴史を調べていく活動に入る。なぜ888回も続いてきたのか考えさせ、人々の想いや時代の背景に着目させる。ネット上で調べるのではなく、春日大社の方と地域の方に来ていただき、どんな想いを持って開催されているのか実際対面で聴くことで、想いを直に感じ取ってほしい。おん祭について調べたいことを各グループで考え、実際におん祭に参加し様子を写真に残す。その中で、おん祭を見ている一般の方にインタビューをすることで、生の声を聞き、思いを知ることができる。最終的におん祭の魅力をもとめる活動をする。

この「おん祭」という教材を通して雅楽や舞曲を身近に感じ、人々の想いが詰まっていることを

知って自分ごととして考えた上で、行動をすることで自分たちにもそれを広められる力があると知ってほしい。

(4) ESD との関連

- ・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

連携性・・・おん祭りなど伝統的な年中行事を続けていくためには、多くの人々の力を合わせる必要があるということ。

責任性・・・おん祭りなど伝統的な年中行事を続けていくためには、自分たちでできることに取り組んでいく必要があるということ。

- ・本学習で育てたい ESD の資質・能力

他者と協力する力

おん祭を続けていく者として、クラスの友達や地域の方と協力して、行事を残す方法を考える。

進んで参加する態度

和楽器体験に積極的に参加したり、おん祭の歴史を調べたりする中で、どうやったら人々がおん祭の歴史や内容を分かった上で参加してくれるかを主体的に考える。

- ・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正・・・昔も今も幸せになるようにできることを考える。

幸福感に敏感になる、幸福感を重視する・・・実際に行動することで自分たちにもできる力がある幸福感を得る。

- ・達成が期待される SDGs

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①おん祭を含めた奈良県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。	①おん祭の歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目している。 ②奈良県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現している。	①おん祭を含めた奈良県内の文化財や年中行事について、誇りと愛情を持ち、探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 ②地域社会の一員として自覚をした上で、互いの良さを生かしながら積極的に社会に参画しようとしている。

5. 単元の指導計画（全7時間）

学習活動	○学習への支援	○評価
<p>①</p> <p>1 雅楽の曲を聴く。 ・お正月に聴いたことがある音だ。</p> <p>2 おん祭で演奏されている曲だと知る。 ・おん祭では聴いたことがない ・いつ？</p> <p>3 南都楽所の方に和楽器を教えてもらう。</p> <p>4 感想を発表する。</p>	<p>○実際に使われている曲だけではなく、雅楽も身近に感じてもらうために、ジブリを和楽器で演奏している動画も見せる。</p> <p>○実際体験してみてどうだったのか振り返らせる。</p> <p>○この活動の中で歴史についても調べさせる。</p> <p>○ロイロノートにまとめさせる。</p>	<p>イ①（思・判・表）</p> <p>ウ①（主体的）</p>
<p>②</p> <p>5 おん祭がどんなお祭りなのか、おん祭の動画からつかむ。 ・行ったことない ・馬が歩いているのを見に行っていたことがある ・屋台がたくさん出ている</p> <p>③</p> <p>6 おん祭では、雅楽や舞曲の他にどんな催しがあるのか調べる。 ・競馬もあるんだ。 ・888年も続いている。</p> <p>7 調べたことを発表する。</p>	<p>○おん祭を見に行っていない子どものために、動画でお渡り式の様子を見せる。</p> <p>○動画を見て気付いたことを発表させる。</p> <p>○おん祭に使われている雅楽についても紹介する。</p>	<p>イ②（思・判・表）</p>
<p>④</p> <p>8、9 おん祭が長く続いてきた理由を考える。 ・春日大社の方に話を聞く。 ・地域の方に話を聞く。 ・そんな想いがあるなんて</p>	<p>○調べたことをもとに、自分の意見を考え、話し合わせる。</p> <p>○おん祭が人々の幸せを願って行われていること、世の中の状況に合わせて続けられてきたことに気付かせる。</p>	<p>ア①（知・技）</p>

<p>知らなかった。 ・もっとおん祭のことを広められないかな</p>		
<p>⑤ 10 ポスターに載せる内容を探しに「おん祭発掘隊」を作り、グループごとにお祭りのどこに着目して見るかを定める。</p>	<p>○何に着目しておん祭に参加するのか知りたいことも含めてワークシートに記載させる。</p>	<p>イ① ((思・判・表)</p>
<p>⑥ 11 実際に見学に行き、写真も撮る。</p>	<p>○おん祭を見に来ている人にインタビューができるよう、前もって聞くことリストのワークシートを作成する。</p>	<p>ウ① (主体的)</p>
<p>⑦ おん祭の魅力をポスターにまとめ、発信する。</p>	<p>○グループごとに撮った写真も貼りながら作らせる。</p>	<p>イ② (思・判・表) ウ② (主体的)</p>